

様式1

平成30年度 学校評価表

学校教育目標	社会で通用する基礎・基本を磨き、 よりよい自分、よりよい学校、よりよい社会を目指そうとする生徒の育成
a ミッション 【地域・社会における 本校の使命・存在意義】	地域が誇る学校づくり ～ 地域からの期待に応え、期待を超える学校づくりを ～
a ビジョン 【実現しようとする 本校の将来像】	○オール因島南（園・小・中及び家庭、地域）で、連携・協働し、生徒を育む学校 ○学校・地域（ふるさと）を誇りに思い、自分の生き方を見つめ直すことに繋げる学校 ○常にスパイラル・アップを目指し、向上心を持ち、思いを実行に移せる学校

評価計画

	b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値
育成する資質・能力 「はがれ落ちない基礎・基本」 「思考力・表現力」 「高い志とチャレンジ精神」	ふるさとを見つめ直し、 深く考えることで、 自分の生き方を見つめる ことができる 【育成する資質・能力】 「思考力・表現力」	○「ふるさと因島」を誇りに 思い、自分達で、よりよい ふるさと、よりよい社会を 目指そうとする生徒の育成	◎ふるさと学を中核とした カリキュラムの確立と推進 ■カリキュラムマネジメントの確立 （ふるさと学の深化・発展） ■「学びに向かう力」の育成に向けた カリキュラムの改善	「自分の将来に夢や希望、 目標をもっている」 生徒の割合 「自分達の学んだことを 人生や社会に生かそうと 思う」生徒の割合	85% 80%
	「社会で通用する 基礎・基本」を身につけ、 活かすことができる 【育成する資質・能力】 「はがれ落ちない 基礎・基本」	○「主体的に学ぶ」力を育てる 授業づくりの推進	◎授業改善の推進 ■「課題発見・解決学習」を取り入れた 授業改善の推進 （単元開発、「考えさせる」時間の確保） ■校内授業研究の推進、他校視察による 研究の推進	「授業の課題について 『なぜだろう』『やってみよう』 と思う」生徒の割合	90%
			◎基礎学力の定着に向けた 指導の徹底 ■「学びのサイクル」の充実・発展 （本時のめあての工夫、家庭学習の充実） ■「南中タイム（週末まとめテスト）」の充実 及び指導の徹底 （アゲイン、サポートの充実）	「できた」「わかった」と 授業で感じている生徒の割合 （全教科平均） 「南中タイムは自分の学習に 役立っている」と捉えている 生徒の割合	85% 90%
			○道徳教育の充実 ■道徳の時間の授業改善・授業研修 （「資料吟味シート」の充実） ■「特別な教科 道徳」教科化への対応の推進 （授業方法の工夫、評価の充実）	「『道徳の時間』は自分の成長に 役立っている」と捉えている 生徒の割合 「『考え、議論する』道徳は、 自分の考えを深めるのに役立つ」と 捉えている生徒の割合	90% 90%
	自分自身で、また、 まわりと力を合わせて、 よりよい自分、よりよい学校 を創り出そうとする 【育成する資質・能力】 「高い志と チャレンジ精神」	○現状に満足することなく、 常に向上心を持って、 思いを実行に移そうとする 生徒の育成	○向上心・実行力の育成 （「高い志・チャレンジ精神」） ■「プラス・ワン」の実践を通じた 向上心・実行力の育成 ■「話し合い活動」の充実 （安心して意見の出せる風土づくり）	生徒会活動スローガン 「プラス・ワン」を 実践している生徒の割合 人の意見を聴き、自分の意見を 発表できる生徒の割合	90% 80%
		○主体性をもって、 自分達で自分達の学校を よりよくしていこうとする 生徒の育成	○心を磨く指導による生活改善 ■「挨拶」のレベルアップ （意図的な挨拶向上の計画的実施） ■「場を整える」指導の徹底 （委員会・部活動指導による徹底）	「積極的に挨拶をしている」と 思う生徒の割合 「自分の持ち物やロッカー・机の中 等を整理・整頓している」と 思う生徒の割合	90% 95%
		○生活習慣の改善と きめ細やかな見取りと対応による 不登校生徒の減少	◎不登校未然防止 ■組織的な対応 （ケース会議の充実、家庭連携の推進） ■生徒理解の推進 （アセスの活用の充実、面談の推進）	中学校生活を要因とする 新たな不登校生徒を出さない。 （不登校生徒数は、半減を目標）	0人 （半減）
	学校に、規律と自律、 安心感と充実感があり、 生徒が、生き生きと 学校生活を送ることが できる	○自らを律するとともに、 学校生活に充実感を見いだせる 生徒の育成	○生徒指導体制の改善 ■「ルールを守る」指導の徹底 （全教職員による指導の徹底、 家庭連携の充実） ■充実感・達成感の向上 （小中連携の推進、生徒主体の活動の充実）	「学校や社会のルールを 守っている」と思っている 生徒の割合 「みんなで何かに取り組み、 やって良かったと感じることが ある。」生徒の割合	95% 90%